

都市像(将来のあるべき姿)

人・自然・文化がおりなす 活力とやさしさのあるまち 飛驒高山



平成27年に策定した第八次総合計画は、計画期間の中間年となる5年が経過することから、市を取り巻く環境の変化などを踏まえ、計画の見直しを行いました。

総合計画とは…

総合計画は、将来における市のあるべき姿と進むべき方向性について基本的な指針を示すもので、市の最上位計画として市政運営の最も基本となる計画です。

見直しのポイント

第八次総合計画の見直しにあたり、統計調査などの各種データや社会潮流の把握、分析を行うとともに、アンケートや市民との意見交換会を通じて今後のまちづくりに関する様々なご意見・ご提案をいただきながら進めてきました。



意見交換会の様子

①まちづくりの方向性の明確化

市民の皆さんに分かりやすく、共有できる計画となるよう、分野の枠組みを超えた横断的な視点を持って市が進めるべきまちづくりの方向性を示すとともに、戦略的かつ重点的に取り組むことを明示しました。

②長期的な視点

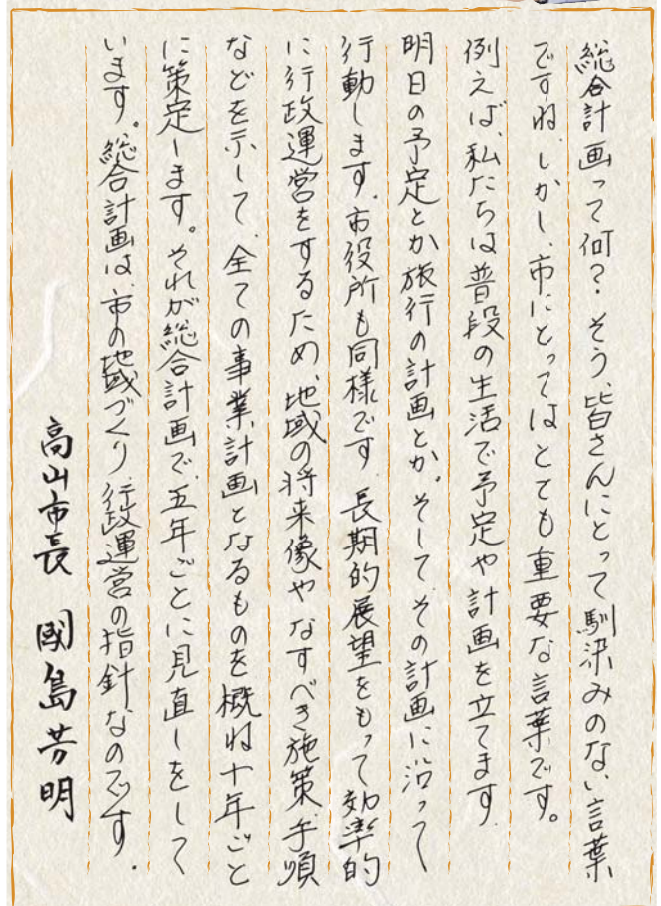
将来の人口などを踏まえた長期的な視点を持ちながら、計画期間の後半5年間ですすめるべき内容を示しました。

③地域ごとのまちづくりの方向性

まちづくり協議会の範囲ごとに地域のまちづくりの方向性を示しました。

市長コラム「道しるべ」

第八次総合計画の見直し



高山市総合計画 検索



市役所1階市民コーナーや各支所で閲覧できます

ご利用下さい！

出前講座

総合計画やまちづくりの現状などについて地域や職場、学校などにお伺いし説明させていただきます。お気軽にご相談下さい。

申込・問合せ 企画課 ☎ 35-3131